

茨城県福祉サービス第三者評価結果（総括表）

① 第三者評価機関名

株式会社 アミュレット

② 施設・事業所情報

名称：守谷市障がい者福祉センター	種別：多機能型（生活介護）
代表者氏名：藤沢 正樹	定員（利用人数）： 15 名
所在地：茨城県守谷市板戸井 1 9 7 7 番地の 2	
TEL：0297-45-9801	ホームページ： http://www.kings-garden.or.jp/publics/index/40/0/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成 20 年 4 月 1 日（指定管理許可日）	
経営法人・設置法人（法人名等）：守谷市（社会福祉法人 日本キングス・ガーデン）	
職員数	常勤職員： 17 名 非常勤職員： 10 名
専門職員	介護福祉士 16 名 サービス管理責任者 1 名
	相談支援専門員 2 名 作業療法士・理学療法士 3 名
	看護職員 2 名
施設・設備 の 概要	（居室数） 6 室 （設備等）車いす用トイレ 3 個
	食堂 2 室、事務室 3 室 スロープ

③ 理念・基本方針

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1) 仕える（日々の祈りを大切に、喜んでご利用者に仕える） 2) 利用者中心（利用者中心のケアを行い、自立した生活が出来るように支援する） 3) 尊敬（利用者の自由と尊厳を守り、ありのままにその人を受け入れ心に寄り添う） 4) 連携（利用者の安全と健康を支える為、職種間の連携を密にする） 5) 専門性（誰もが安心して生活できるように、専門性をもって地域社会に貢献する） |
|---|

④ 施設・事業所の特徴的な取組

<p>地域との繋がりを重要とし、毎年「ひこうせんまつり」として、地域交流のセンター主催のお祭りを実施している。利用者のADL状況を観察し、利用者のできること、希望することを大切にしながら、本人が意欲的に取り組める活動班で活動して頂く。特に就労班に於いては地域の方々に協力を頂き、ご利用者が資源の回収を行なっている。また、放課後等デイサービスでは、学校や家族の希望に沿って支援している。</p>
--

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 元 年 6 月 17 日 (契約日) ~ 令和 元 年 10 月 28 日 (評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	3 回 (令和 元 年度)

評価実施期間	平成 28 年 6 月 2 日 (契約日) ~ 平成 28 年 9 月 21 日 (評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	2 回 (平成 28 年度)

評価実施期間	平成 26 年 3 月 24 日 (契約日) ~ 平成 26 年 5 月 29 日 (評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	1 回 (平成 25 年度)

⑥総評

◇特に良いと思う点

働き易い職場づくりに向けて法人全体でバックアップ体制を築いています。法人内に事業所内保育所の開設、職員のスキルアップに向けては資格取得や研修の受講の奨励、さらには2019年度より介護福祉士実務者研修事業を開始し、資格取得に向けたバックアップ体制を強化しています。利用者への支援では、みのり班・ねっこ班・わかば班の3班に分かれ利用者の特性や状況に合わせて各班に分かれ、利用者のペースや状態に合わせて各種活動に参加できるように取り組んでいます。法人のバザーやお祭り、運動会への参加を通して多様な活動に参加できるように取り組むほか、事業所主催の「ひこうせんまつり」を毎年開催し、利用者が取り組んだ一年間の成果発表や利用者が創作活動で作った作品を販売しています。「ひこうせんまつり」には、200名を超える地域住民の方が来場され、地域とも良好な関係を築くことができています。

◇特に改善したいと思う点

・個別支援計画書については、担当の職員が6ヶ月毎にモニタリングを行う仕組みとしています。総合的な意見を踏まえ個別支援計画書を評価していますが、今後に向けては、アセスメントの見直しについても定期的に実施されることを期待します。現状アセスメントは利用開始時に家族構成や主な生活歴、利用までの経緯、健康状態や日常生活動作状況等について確認を取り「フェイスシート」に記録していますが、個別支援計画書のモニタリング後に再アセスメントを行う仕組みを築くなど、アセスメントの見直しの定例化を期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、第三者評価を受審するのは3回目となりますが、これまでの第三者評価での評価内容や他のアンケート結果等、改善に努めたことも含めて、高く評価して頂けたと思っております。当センターでは、「ひこうせんまつり」を毎年3月に開催することをはじめ、地域の方々との交流と開かれた事業所を念頭に置いて、日々、ご利用者の支援にあたっております。

特に生活介護サービスにおいては、ご自分で明確に意思表示がしにくいご利用者の割合が多いため、そうした方々にも耳をかたむけ、アイコンタクトや活動等について、選択していただく機会を多くし、ご本人の意思が生活に反映できるように努力しております。今後も、今回の第三者評価の内容を継続して行えるようにしていきたいと思っております。